

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	研究科等連係課程実施基本組織の設置（研究科の設置）								
フリガナ設置者	コリウダクイブツホジシン エヒメイブツ 国立大学法人 愛媛大学								
フリガナ大学の名称	エヒメイブツ 愛媛大学大学院（Graduate School of Ehime University）								
大学本部の位置	愛媛県松山市道後樋又10番13号								
大学の目的	愛媛大学は、学術の一中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって文化の創造と発展に貢献することを目的とする。								
新設研究科等の目的	本学環は、人口減少・少子高齢化の進行、産業構造の変化、医療・福祉・防災等の分野における課題の複雑化・重層化といった地域社会が直面する構造的課題に対応し、その解決に資する高度専門人材を養成することを目的として設置する。本学環では、各専門分野に基づく体系的な「学術知」と、産業界や地域社会の現場において蓄積された「実践知」とを往還させることにより、社会課題の本質及び因果構造を学術的に把握し、解決に向けた構想の立案から社会実装、検証に至るまでを一体的に遂行できる能力の育成を図る。 養成する人材は、単一の専門分野又は組織の枠を超え、多様な関係者と協働しながら、国際的なプロジェクト実務の共通基盤であるプロジェクトマネジメント手法を土台として、課題解決型プロジェクトを計画・運営・実装できる博士人材である。あわせて、実践の過程で得られた知見を再現可能な「プロセス知」として理論化・発信し、他地域・他分野における応用可能性を有する知として社会及び学術の双方へ還元できる高度専門職としての活躍を想定する。								
新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	14条特例の実施
	年	人	年次人	人			年月第 年次		
	3	5	-	15	博士（学術） [Doctor of Philosophy]	工学関係 理学関係 農学関係 保健衛生学関係 （看護学関係）	令和9年4月第1年次	愛媛県松山市文京町3番	
								愛媛県松山市文京町3番	
連係協力研究科（I） 理工学研究科 [Graduate School of Science and Engineering]									
理工学専攻（博士後期課程） [Division of Science and Engineering Doctoral Course]	3	23	-	69	博士（理学） [Doctor of Science] 博士（工学） [Doctor of Engineering] 博士（数理情報学） [Doctor of Philosophy in Mathematics and Computer Science]	理学関係 工学関係	令和5年4月第1年次		
理工学専攻（博士後期課程）からアドバンス トソーシャルマネジメント学環の内数とする 入学定員数		5		15					

新設研究科等の概要	連係協力研究科（Ⅱ） 連合農学研究科 [The United Graduate School of Agricultural Sciences]								愛媛県松山市榑味3丁目5番7号
	生物資源生産学専攻（博士課程） [Bioresource Production Science Major]	3	9	-	27	博士（農学） 博士（学術） [Doctor of Philosophy]	農学関係	昭和60年 4月 第1年次	
	生物資源利用学専攻（博士課程） [Applied Bioresource Science Major]	3	4	-	12	博士（農学） 博士（学術） [Doctor of Philosophy]	農学関係	昭和60年 4月 第1年次	
	生物環境保全学専攻（博士課程） [Life Environment Conservation Science Major]	3	4	-	12	博士（農学） 博士（学術） [Doctor of Philosophy]	農学関係	昭和60年 4月 第1年次	
	連係協力研究科（Ⅲ） 医学系研究科 [Graduate School of Medicine]								愛媛県東温市志津川454
	医学専攻（博士課程） [Program for Medical Science]	4	30	-	120	博士（医学） [Doctor of Madicine]	医学関係	平成18年 4月 第1年次	
	看護学専攻（博士後期課程） [Program for Nursing Sciences Doctoral Course]	3	2	-	6	博士（看護学） [Doctor of Nursing Science]	保健衛生学関係（看護学関係）	令和2年 4月 第1年次	
	計		-	-	-				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		人文社会科学研究科 法学専攻（博士前期課程）（12）（令和8年3月意見伺い） 産業システム創成専攻（博士前期課程）（8）（令和8年3月意見伺い） 人文社会科学専攻（博士後期課程）（5）（令和8年3月意見伺い）							
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	研究科等連係課程実施基本組織 アドバンストソーシアルマネジメント学環	1科目	1科目	0科目	2科目	14単位			

研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
		人	人	人	人	人	人	人	
新設	研究科等連係課程実施基本組織 アドバンストソーシャルマネジメント学環	<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【2】 (2)	令和8年3月 意見伺い
	連係協力研究科（Ⅰ） 理工学研究科 理工学専攻（博士後期課程）								
	連係協力研究科（Ⅱ） 連合農学研究科 生物資源生産学専攻（博士課程） 生物資源利用学専攻（博士課程） 生物環境保全学専攻（博士課程）								
	連係協力研究科（Ⅲ） 医学系研究科 医学専攻（博士課程） 看護学専攻（博士後期課程）								
分	人文社会科学研究科 人文社会科学専攻（博士後期課程）	16 (16)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	0 (0)	
	計	16 (16)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	- (-)	
既設	人文社会科学研究科 法文学専攻（博士前期課程）	28 (28)	23 (23)	0 (0)	0 (0)	51 (51)	0 (0)	60 (60)	
	人文社会科学研究科 産業システム創成専攻（博士前期課程）	11 (11)	14 (14)	2 (2)	1 (1)	28 (28)	0 (0)	57 (57)	
設	教育学研究科 心理発達臨床専攻（修士課程）	5 (5)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	
	教育学研究科 教育実践高度化専攻（専門職学位課程）	27 (27)	11 (11)	3 (3)	0 (0)	41 (41)	0 (0)	33 (33)	
設	医学系研究科 医学専攻（博士課程）	39 【1】 (43)	55 【0】 (57)	17 【0】 (17)	15 【0】 (15)	126 【1】 (132)	0 【0】 (0)	2 【0】 (3)	
	医学系研究科 看護学専攻（博士前期課程）	11 (11)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	9 (9)	
設	医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程）	8 【2】 (8)	2 【0】 (2)	2 【0】 (2)	0 【0】 (0)	12 【2】 (12)	0 【0】 (0)	5 【0】 (11)	
	理工学研究科 理工学専攻（博士前期課程）	87 (87)	63 (63)	11 (11)	18 (18)	179 (179)	0 (0)	6 (6)	
設	理工学研究科 理工学専攻（博士後期課程）	71 【12】 (80)	57 【0】 (59)	3 【0】 (3)	5 【0】 (5)	136 【12】 (147)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	
	農学研究科 食料生産学専攻（修士課程）	13 (13)	17 (17)	1 (1)	4 (4)	35 (35)	0 (0)	2 (2)	
設	農学研究科 生命機能学専攻（修士課程）	6 (6)	7 (7)	0 (0)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	0 (0)	
	農学研究科 生物環境学専攻（修士課程）	16 (16)	17 (17)	1 (1)	1 (1)	35 (35)	0 (0)	1 (0)	
設	連合農学研究科 生物資源生産学専攻（博士課程）	19 【1】 (29)	31 【0】 (31)	2 【0】 (2)	2 【0】 (2)	54 【1】 (64)	0 【0】 (0)	5 【0】 (6)	
	連合農学研究科 生物資源利用学専攻（博士課程）	28 【1】 (35)	14 【0】 (16)	2 【0】 (2)	5 【0】 (5)	49 【1】 (58)	0 【0】 (0)	3 【0】 (4)	
設	連合農学研究科 生物環境保全学専攻（博士課程）	20 【0】 (28)	11 【0】 (11)	3 【0】 (3)	2 【0】 (2)	36 【0】 (44)	0 【0】 (0)	6 【0】 (7)	
	研究科等連係課程実施基本組織 医農融合公衆衛生学環（修士課程）	24 (24)	5 (5)	2 (2)	1 (1)	32 (32)	0 (0)	0 (0)	
分	研究科等連係課程実施基本組織 地域レジリエンス学環（修士課程）	17 (17)	13 (13)	1 (1)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	1 (0)	
	計	398 【17】 (398)	280 【0】 (280)	48 【0】 (48)	57 【0】 (57)	783 【17】 (783)	0 【0】 (0)	- 【-】 (-)	
合 計		398 (398)	280 (280)	48 (48)	57 (57)	783 (783)	0 (0)	- (-)	

職 種				専 属		その他		計		大学全体			
事 務 職 員				358 (358)		351 (351)		709 (709)					
技 術 職 員				524 (524)		142 (142)		666 (666)					
図 書 館 職 員				17 (17)		0 (0)		17 (17)					
そ の 他 の 職 員				1 (1)		640 (640)		641 (641)					
指 導 補 助 者				0 (0)		0 (0)		0 (0)					
計				900 (900)		1,133 (1,133)		2,033 (2,033)					
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		大学全体		
	校 舎 敷 地		401,011 m ²		0 m ²		0 m ²		401,011 m ²				
	そ の 他		4,257,149 m ²		0 m ²		0 m ²		4,257,149 m ²				
	合 計		4,658,160 m ²		0 m ²		0 m ²		4,658,160 m ²				
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		大学全体		
			224,391 m ² (224,391 m ²)		0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		224,391 m ² (224,391 m ²)				
講義室等・新設研究科等 の 専 任 教 員 研 究 室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室		大学全体		
			91 室		561 室		107 室		17 室				
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	学部等単位での 特定不能なため、大学全体の 数
	研究科等連係課程実施基本組織 アドバンストソー シャルマネジメント 学環		1,124,451 [320,223] (1,124,451 [320,223])		4,065 [1,324] (4,065 [1,324])		24,600 [8,847] (24,600 [8,847])		5,228 [3,481] (5,228 [3,481])		12,743 (12,743)	1 (1)	
	計		1,124,451 [320,223] (1,124,451 [320,223])		4,065 [1,324] (4,065 [1,324])		24,600 [8,847] (24,600 [8,847])		5,228 [3,481] (5,228 [3,481])		12,743 (12,743)	1 (1)	
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	国費（運営費交付金）による			
		教員1人当り研究費等			- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
		共同研究費等			- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
		図書購入費		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
		設備購入費		- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円				
	学生1人当り 納付金				第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次				
				- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要				-									
大 学 等 の 名 称		愛媛大学											
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地				
法文学部		年	人	年次 人	人		1.07 《1.03》						
人文社会学科 昼間主コース		4	275	3年次 10	1,120	学士 (法学・政策学、 学術、人文学)	1.05 《1.02》	平成28	愛媛県松山市文京 町3番				
人文社会学科 夜間主コース		4	90	3年次 20	400	学士 (法学・政策学、 学術、人文学)	1.14 《1.07》	平成28	同上				
教育学部							1.07 《1.05》						
学校教育教員養成課程		4	160	-	640	学士 (教育学)	1.07 《1.05》	平成11	愛媛県松山市文京 町3番				
社会共創学部							1.08 《1.04》						
産業マネジメント学科		4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.09 《1.06》	平成28	愛媛県松山市文京 町3番				

既設大学等の状況	産業イノベーション学科	4	25	－	100	学士 (社会共創学)	1. 05 《1. 01》	平成28	同上		
	環境デザイン学科	4	35	－	140	学士 (社会共創学)	1. 05 《1. 01》	平成28	同上		
	地域資源マネジメント学科	4	50	－	200	学士 (社会共創学)	1. 10 《1. 06》	平成28	同上		
	理学部							1. 13 《1. 06》	平成31	愛媛県松山市文京町2番5号	
	理学科	4	225	－	900	学士 (理学)	1. 12 《1. 06》				
	医学部							1. 00 《0. 98》	昭和48	愛媛県東温市志津川454	令和8年度入学定員増（15人）
	医学科	6	110	2年次5	685	学士 (医学)	1. 02 《1. 00》				
	看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	0. 97 《0. 95》	平成6	同上		
	工学部							1. 08 《1. 03》	平成31	愛媛県松山市文京町3番	令和6年度より入学定員増（30人）
	工学科	4	530	3年次10	2,080	学士 (工学)	1. 08 《1. 02》				
	農学部							1. 10 《1. 07》	平成28	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号	
	食料生産学科	4	70	3年次5	290	学士 (農学)	1. 12 《1. 08》				
	生命機能学科	4	45	3年次2	184	学士 (農学)	1. 07 《1. 05》	平成28	同上		
	生物環境学科	4	55	3年次3	226	学士 (農学)	1. 09 《1. 07》	平成28	同上		
	人文社会科学研究科 (修士課程)							0. 78 《0. 75》	令和2	愛媛県松山市文京町3番	地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数
	法文学専攻	2	12	－	24	修士 (法学、人文学)					
				【1】		【2】					
	産業システム創成専攻	2	8	－	16	修士 (経済学、学術)	0. 78 《0. 64》	令和2	同上	地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数	
				【1】		【2】					
	教育学研究科 (修士課程)							1. 15 《1. 10》	令和2	愛媛県松山市文京町3番	
	心理発達臨床専攻	2	10	－	20	修士 (臨床心理学)					
	(専門職学位課程)							1. 17 《1. 17》	令和2	同上	
	教育実践高度化専攻	2	40	－	80	教職修士 (専門職)					
	医学系研究科 (博士課程)							1. 25 《1. 04》	平成18	愛媛県東温市志津川454	
	医学専攻	4	30	－	120	博士 (医学)					

	(博士前期課程)									
	看護学専攻	2	12	-	24	修士 (看護学)	1. 11 《0. 90》	平成10	同上	医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員数
			【2】		【4】					
	(博士後期課程)									
	看護学専攻	3	2	-	6	博士 (看護学)	1. 62 《1. 25》	令和2	同上	
理工学研究科										
	(博士前期課程)									
	理工学専攻	2	270	-	540	修士 (理学、工学、 数理情報学)	1. 12 《1. 11》	令和5	愛媛県松山市文京 町3番	令和6年度より 入学定員増(20 人)
			【2】		【4】					地域レジリエ ンス学環の内数と する入学定員数
	(博士後期課程)									
	理工学専攻	3	23	-	69	博士 (理学、工学、 数理情報学)	1. 07 《1. 07》	令和5	同上	
農学研究科										
	(修士課程)									
	食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	1. 02 《0. 97》	平成28	愛媛県松山市榑味 3丁目5番7号	医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員数
			【1】		【2】					
			【1】		【2】					地域レジリエ ンス学環の内数と する入学定員数
	生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	1. 32 《1. 32》	平成28	同上	
	生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	1. 03 《1. 02》	平成28	同上	
			【2】		【4】					医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員数
			【1】		【2】					地域レジリエ ンス学環の内数と する入学定員数
連合農学研究科										
	(博士課程)									
	生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学術)	1. 28 《1. 24》	昭和60	愛媛県松山市榑味 3丁目5番7号	
	生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	1. 33 《1. 25》	昭和60	同上	
	生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	1. 83 《1. 58》	昭和60	同上	
研究科等連係課程実施 基本組織										
	(修士課程)									
	医農融合公衆衛生学 環	2	5	-	10	修士 (公衆衛生学)	1. 15 《0. 93》	令和4	愛媛県東温市志津 川454	

地域レジリエンス学 環	2	6	-	12	修士 (学術)	1.44 《1.12》	令和5	愛媛県松山市文京 町3番	
附属施設の概要	名称：医学部附属病院 目的：医学教育、研究及び診療 所在地：愛媛県東温市志津川454 設置年月：昭和51年5月 規模等：建物面積 73,597㎡ 名称：教育学部附属幼稚園 目的：幼児教育、研究及び教員養成 所在地：愛媛県松山市持田町1丁目5番22号 設置年月：昭和24年5月 規模等：建物面積 1,115㎡ 名称：教育学部附属小学校 目的：児童教育、研究及び教員養成 所在地：愛媛県松山市持田町1丁目5番22号 設置年月：昭和24年5月 規模等：建物面積 5,700㎡ 名称：教育学部附属中学校 目的：生徒教育、研究及び教員養成 所在地：愛媛県松山市持田町1丁目5番22号 設置年月：昭和24年5月 規模等：建物面積 7,121㎡ 名称：教育学部附属特別支援学校 目的：特別支援教育、研究及び教員養成 所在地：愛媛県松山市持田町1丁目5番22号 設置年月：昭和47年4月 規模等：建物面積 3,202㎡ 名称：愛媛大学附属高等学校 目的：高等普通教育及び専門教育、研究、教育実習 所在地：愛媛県松山市樽味3丁目2番40号 設置年月：平成20年4月 規模等：建物面積 13,785㎡ 名称：農学部附属農場 目的：農学の理論を探究しつつ、応用技術を総合化する研究及び学生生徒の実験実習 所在地：愛媛県松山市八反地甲498番地 設置年月：昭和29年4月 規模等：土地面積 187,722㎡ 名称：農学部附属演習林 目的：森林・林業に関する研究及び学生生徒の実験実習 所在地：愛媛県松山市大井野町乙145番2 設置年月：昭和32年9月 規模等：土地面積 3,838,905㎡								

教 育 課 程 等 の 概 要																
(アドバンストソーシャルマネジメント学環)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)	
科 共 目 通	プロジェクトマネジメント特論	1前		2			○								2	共同・メディア
	小計 (1科目)	—	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	2	
科 専 目 門	プロジェクト演習	1~3通		12				○		17						メディア
	小計 (1科目)	—	—	12	0	0	—			17	0	0	0	0	0	
合 計 (2科目)		—	—	14	0	0	—			17	0	0	0	0	2	
学位又は称号		博士 (学術)			学位又は学科の分野				工学関係、理学関係、農学関係、保健衛生学 (看護学関係)							
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等							
共通科目必修2単位、専門科目必修12単位を修得することに加え、学位論文 (プロジェクト論文) を提出し、審査及び最終試験に合格することとする。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
(理工学研究科理工学専攻（博士後期課程））																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員（助 手を除く） 以外の教員	
専攻 共通科目	ファンダメンタル・アカデミックスキル	1			1		○			1						集中
	アドバンスド・アカデミックスキル	1・2・3			1		○			1						集中
	キャリアパス・ディベロップメント	1・2・3			1		○			1						集中
	学外高等特別演習	1・2・3			1		○			80	59	3	5			共同・集中
	学外高等特別研修	1・2・3			1		○			80	59	3	5			共同・集中
	国際交流研究	1・2・3			1		○			80	59	3	5			共同・集中
	リサーチ・インターンシップ	1・2・3			1		○			1						集中
	小計（7科目）	—	—	0	7	0		—		80	59	3	5		0	
科 専 目 門	博士特別研究	1~3通		9			○			80	59	3	5			共同・集中
	小計（1科目）	—	—	9	0	0		—		80	59	3	5		0	
合計（8科目）		—	—	9	7	0		—		80	59	3	5		0	
学位又は称号		博士（理学）、博士（工学）、 博士（数理情報学）			学位又は学科の分野				理学関係、工学関係							
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等							
1. 専門科目必修9単位、理工学研究科共通科目3単位以上、合計12単位以上を修得していること。 2. 学位論文の審査及び最終試験に合格すること。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(連合農学研究科生物資源生産学専攻（博士課程）)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)		
必修科目	共通セミナー	1前		1			○									1	※演習
	生物資源生産学セミナー	1～2通		1			○									1	
	学位論文研究	1～3通		6				○		26	11						
	学位論文演習	1～3通		1				○		29	31	2	2				
	小計（4科目）	—	—	9	0	0	—			29	31	2	2	0	1		
修選科目 択目必	総合農学概論Ⅰ（日本語）	1前			1		○									1	
	総合農学概論Ⅱ（英語）	1後			1		○								1		
	小計（2科目）	—	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	1		
選択科目	科学英語Ⅰ	1			1		○									1	※演習
	科学英語Ⅱ	1・2			1		○								1		
	プロジェクト型研究科目	1～2通			1			○							1		
	国際化プログラム科目	1～2通			1			○							1		
	インターンシップ科目	1～2通			1				○						1		
	職業実務演習科目	1～2通			1				○						1		
	教授法入門 専門分野の学識を教授するために	1～2通			1		○								3		
	SDGsセミナー	2・3			1		○								1		
	研究室の安全管理とリスクアセスメント	1・2			1		○								1		
	生物資源生産学専攻合同演習	1～2通			1			○		29	31	2	2		1		
	生物資源利用学セミナー	1～2通			1			○							1		
	生物資源保全学セミナー	1～2通			1			○							1		
	小計（12科目）	—	—	0	12	0	—			29	31	2	2	0	6		
合計（18科目）		—	—	9	14	0	—			29	31	2	2	0	6		
学位又は称号		博士（農学）、博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等							
本研究科に3年以上在学したうえで、授業科目について12単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査および最終試験に合格することを必要とする。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間については、修士課程における2年を含め3年以上在学すれば足りるものとする。										1学年の学期区分				2学期			
										1学期の授業期間				15週			
										1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
(連合農学研究科生物資源利用学専攻（博士課程）)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員 (助手を除く)	
必修 科目	共通セミナー	1前		1			○			1						※演習
	生物資源利用学セミナー	1～2通		1			○			1						
	学位論文研究	1～3通		6				○		35	8					
	学位論文演習	1～3通		1				○		35	16	2	5			
	小計（4科目）	—	—	9	0	0	—	—	35	16	2	5	0	0		
修 選 科 択 目 必	総合農学概論Ⅰ（日本語）	1前			1		○			1						
	総合農学概論Ⅱ（英語）	1後			1		○			1						
	小計（2科目）	—	—	0	2	0	—	—	1	0	0	0	0	0		
選 択 科 目	科学英語Ⅰ	1			1		○								1	3 ※演習 ※演習 ※演習
	科学英語Ⅱ	1・2			1		○								1	
	プロジェクト型研究科目	1～2通			1			○		1						
	国際化プログラム科目	1～2通			1			○		1						
	インターンシップ科目	1～2通			1				○	1						
	職業実務演習科目	1～2通			1				○	1						
	教授法入門 専門分野の学識を教授するために	1～2通			1		○									
	S D G sセミナー	2・3			1		○			1						
	研究室の安全管理とリスクアセスメント	1・2			1		○			1						
	生物資源利用学専攻合同演習	1～2通			1			○		35	16	2	5			
	生物資源生産学セミナー	1～2通			1			○		1						
	生物資源保全学セミナー	1～2通			1			○		1						
小計（12科目）	—	—	0	12	0	—	—	35	16	2	5	0	4			
合計（18科目）		—	—	9	14	0	—	—	35	16	2	5	0	4		
学位又は称号		博士（農学）、博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係							
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等							
本研究科に3年以上在学したうえで、授業科目について12単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査および最終試験に合格することを必要とする。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間については、修士課程における2年を含め3年以上在学すれば足りるものとする。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
(連合農学研究科生物資源保全学専攻（博士課程）)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)	
必修科目	共通セミナー	1前	/	1			○								1	※演習
	生物資源保全学セミナー	1～2通		1			○								1	
	学位論文研究	1～3通		6				○		28	3	1	1		1	
	学位論文演習	1～3通		1				○		28	11	3	2		1	
	小計（4科目）	—	—	9	0	0	—	—	—	28	11	3	2	0	2	
修選科目必	総合農学概論Ⅰ（日本語）	1前	/		1		○								1	
	総合農学概論Ⅱ（英語）	1後			1		○								1	
	小計（2科目）	—	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	1	
選択科目	科学英語Ⅰ	1	/		1		○								1	※演習
	科学英語Ⅱ	1・2			1		○								1	
	プロジェクト型研究科目	1～2通			1			○							1	
	国際化プログラム科目	1～2通			1			○							1	
	インターンシップ科目	1～2通			1				○						1	
	職業実務演習科目	1～2通			1				○						1	
	教授法入門 専門分野の学識を教授するために	1～2通			1		○								3	
	SDGsセミナー	2・3			1		○								1	
	研究室の安全管理とリスクアセスメント	1・2			1		○								1	
	生物資源保全学専攻合同演習	1～2通			1			○		28	11	3	2		2	
	生物資源生産学セミナー	1～2通			1			○							1	
	生物資源利用学セミナー	1～2通			1			○							1	
小計（12科目）	—	—	0	12	0	—	—	—	28	11	3	2	0	7		
合計（18科目）		—	—	9	14	0	—	—	—	28	11	3	2	0	7	
学位又は称号		博士（農学）、博士（学術）			学位又は学科の分野				農学関係							
卒業要件及び履修方法										授業期間等						
本研究科に3年以上在学したうえで、授業科目について12単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査および最終試験に合格することを必要とする。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間については、修士課程における2年を含め3年以上在学すれば足りるものとする。										1学年の学期区分				2学期		
										1学期の授業期間				15週		
										1時限の授業の標準時間				90分		

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科医学専攻 (博士課程))																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹(助手を除く) 教員以外の教員	
共通 科目	基礎研究方法論	1～4通		6	(6)		○			1						
	大学院フォーラム	1～4通		4	(4)		○			1						
	小計 (2科目)	—		10	(10)	0	—			1	0	0	0	0	0	
	医化学・細胞生物学講義	1～4通			6(4)		○			1	1		1			
	医化学・細胞生物学演習	1～4通			7(4)			○		1	1		1			
	医化学・細胞生物学実習	1～4通			7(4)				○	1	1		1			
	生化学・分子遺伝学講義	1～4通			6(4)		○			1						
	生化学・分子遺伝学演習	1～4通			7(4)			○		1						
	生化学・分子遺伝学実習	1～4通			7(4)				○	1						
	分子細胞生理学講義	1～4通			6(4)		○				1					
	分子細胞生理学演習	1～4通			7(4)			○			1					
	分子細胞生理学実習	1～4通			7(4)				○		1					
	分子病態医学講義	1～4通			6(4)		○				1					
	分子病態医学演習	1～4通			7(4)			○			1					
	分子病態医学実習	1～4通			7(4)				○		1					
	血液・免疫・感染症内科学講義	1～4通			6(4)		○			1	2					
	血液・免疫・感染症内科学演習	1～4通			7(4)			○		1	2					
	血液・免疫・感染症内科学実習	1～4通			7(4)				○	1	2					
	小児科学講義	1～4通			6(4)		○			1	3	1				
	小児科学演習	1～4通			7(4)			○		1	3	1				
	小児科学実習	1～4通			7(4)				○	1	3	1				
	糖尿病内科学講義	1～4通			6(4)		○				2					
	糖尿病内科学演習	1～4通			7(4)			○			2					
	糖尿病内科学実習	1～4通			7(4)				○		2					
	精神神経科学講義	1～4通			6(4)		○			1						
	精神神経科学演習	1～4通			7(4)			○		1						
	精神神経科学実習	1～4通			7(4)				○	1						
	肝胆膵・乳腺外科学講義	1～4通			6(4)		○			1	2					
	肝胆膵・乳腺外科学演習	1～4通			7(4)			○		1	2					
	肝胆膵・乳腺外科学実習	1～4通			7(4)				○	1	2					
	皮膚科学講義	1～4通			6(4)		○			1	2	1	2			
	皮膚科学演習	1～4通			7(4)			○		1	2	1	2			
	皮膚科学実習	1～4通			7(4)				○	1	2	1	2			
	無細胞生命科学講義	1～4通			2		○								1	
	地域小児保健医療学講義	1～4通			6(4)		○				1	1				
	地域小児保健医療学演習	1～4通			7(4)			○			1	1				
	地域小児保健医療学実習	1～4通			7(4)				○		1	1				
	生体構造医学講義	1～4通			6(4)		○			1	1	1				
	生体構造医学演習	1～4通			7(4)			○		1	1	1				
	生体構造医学実習	1～4通			7(4)				○	1	1	1				
	循環生理学講義	1～4通			6(4)		○				1		1		1	
	循環生理学演習	1～4通			7(4)			○			1		1		1	
	循環生理学実習	1～4通			7(4)				○		1		1		1	
	薬理学講義	1～4通			6(4)		○			1	1					
	薬理学演習	1～4通			7(4)			○		1	1					
	薬理学実習	1～4通			7(4)				○	1	1					
	病態生理学講義	1～4通			6(4)		○			1						
	病態生理学演習	1～4通			7(4)			○		1						
	病態生理学実習	1～4通			7(4)				○	1						
	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講義	1～4通			6(4)		○			1	3	1	3			
	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学演習	1～4通			7(4)			○		1	3	1	3			
	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学実習	1～4通			7(4)				○	1	3	1	3			
	心臓血管・呼吸器外科学講義	1～4通			6(4)		○			1	3					
	心臓血管・呼吸器外科学演習	1～4通			7(4)			○		1	3					
	心臓血管・呼吸器外科学実習	1～4通			7(4)				○	1	3					
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講義	1～4通			6(4)		○			1	1					
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学演習	1～4通			7(4)			○		1	1					

地域消化器免疫医療学講義	1～4通			6(4)	○			1			1		
地域消化器免疫医療学演習	1～4通			7(4)		○		1			1		
地域消化器免疫医療学実習	1～4通			7(4)			○	1			1		
脳神経先端医学講義	1～4通			6(4)	○				1				
脳神経先端医学演習	1～4通			7(4)		○			1				
脳神経先端医学実習	1～4通			7(4)			○		1				
地域低侵襲消化器医療学講義	1～4通			6(4)	○			1					
地域低侵襲消化器医療学演習	1～4通			7(4)		○		1					
地域低侵襲消化器医療学実習	1～4通			7(4)			○	1					
疫学・公衆衛生学講義	1～4通			6(4)	○			1	1				
疫学・公衆衛生学演習	1～4通			7(4)		○		1	1				
疫学・公衆衛生学実習	1～4通			7(4)			○	1	1				
法医学講義	1～4通			6(4)	○			1					
法医学演習	1～4通			7(4)		○		1					
法医学実習	1～4通			7(4)			○	1					
医療情報学講義	1～4通			6(4)	○			1					
医療情報学演習	1～4通			7(4)		○		1					
医療情報学実習	1～4通			7(4)			○	1					
医学教育学講義	1～4通			6(4)	○			1		1			
医学教育学演習	1～4通			7(4)		○		1		1			
医学教育学実習	1～4通			7(4)			○	1		1			
脳神経内科・老年医学講義	1～4通			6(4)	○				1	1			
脳神経内科・老年医学演習	1～4通			7(4)		○			1	1			
脳神経内科・老年医学実習	1～4通			7(4)			○		1	1			
医療教育学講義	1～4通			6(4)	○			1					
医療教育学演習	1～4通			7(4)		○		1					
医療教育学実習	1～4通			7(4)			○	1					
地域医療学講義	1～4通			6(4)	○			1					
地域医療学演習	1～4通			7(4)		○		1					
地域医療学実習	1～4通			7(4)			○	1					
地域救急医療学講義	1～4通			6(4)	○			1	1				
地域救急医療学演習	1～4通			7(4)		○		1	1				
地域救急医療学実習	1～4通			7(4)			○	1	1				
地域小児・周産期学講義	1～4通			6(4)	○			1					
地域小児・周産期学演習	1～4通			7(4)		○		1					
地域小児・周産期学実習	1～4通			7(4)			○	1					
救急航空医療学講義	1～4通			6(4)	○			1					
救急航空医療学演習	1～4通			7(4)		○		1					
救急航空医療学実習	1～4通			7(4)			○	1					
難病・高齢医療学講義	1～4通			6(4)	○			1			1		
難病・高齢医療学演習	1～4通			7(4)		○		1			1		
難病・高齢医療学実習	1～4通			7(4)			○	1			1		
感染制御学講義	1～4通			6(4)	○			1					
感染制御学演習	1～4通			7(4)		○		1					
感染制御学実習	1～4通			7(4)			○	1					
児童精神医学講義	1～4通			6(4)	○			1					
児童精神医学演習	1～4通			7(4)		○		1					
児童精神医学実習	1～4通			7(4)			○	1					
心不全治療学講義	1～4通			6(4)	○			1					
心不全治療学演習	1～4通			7(4)		○		1					
心不全治療学実習	1～4通			7(4)			○	1					
先進消化器内視鏡開発学講義	1～4通			6(4)	○			1					
先進消化器内視鏡開発学演習	1～4通			7(4)		○		1					
先進消化器内視鏡開発学実習	1～4通			7(4)			○	1					
睡眠医療センター講義	1～4通			6(4)	○				1				
睡眠医療センター演習	1～4通			7(4)		○			1				
睡眠医療センター実習	1～4通			7(4)			○		1				
総合診療サポートセンター講義	1～4通			6(4)	○				1				
総合診療サポートセンター演習	1～4通			7(4)		○			1				
総合診療サポートセンター実習	1～4通			7(4)			○		1				
医療安全管理部講義	1～4通			6(4)	○				1				
医療安全管理部演習	1～4通			7(4)		○			1				
医療安全管理部実習	1～4通			7(4)			○		1				
先端医療創生センター講義	1～4通			6(4)	○				1				
先端医療創生センター演習	1～4通			7(4)		○			1				
先端医療創生センター実習	1～4通			7(4)			○		1				
小計 (191科目)	—	—	0	1264(756)	0	—		43	57	17	15	0	3

共通 コア 科目	研究方法論	1～4通		1			○			1								
	悪性腫瘍の管理と治療	1～4通		1			○			1								
	医療倫理と法律的・経済的問題	1～4通		0.5			○			1								
	医療とコミュニケーション	1～4通		0.5			○			1								※実習
	がんチーム医療実習	1～4通		0.5					○	1								
	医療情報学	1～4通		0.5			○			1								※演習
	小計（6科目）	—		—	4	0	0	—		1	0	0	0	0	0	0		
がん 専門 医 共 通 科 目	がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学	1～4通		1			○			1								
	がんの臨床検査・病理診断・放射線診断学	1～4通		0.5			○			1								
	がん治療各論	1～4通		2			○			1								
	がん緩和と治療	1～4通		0.5			○			1							※実習	
	小計（4科目）	—	—	4	0	0	—		1	0	0	0	0	0	0			
門 瘍 臨 床 医 床 目 専 腫	臨床腫瘍学実習	1～4通		8					○	1								
	専門研究	1～4通		4					○	1								
	小計（2科目）	—		—	12	0	0	—		1	0	0	0	0	0	0		
合計（205科目）		—	—	30	1264(756)	0	—		43	57	17	15	0	3				
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係									
卒業要件及び履修方法									授業期間等									
発展科目/（選択科目）の単位数の（ ）は選択科目の単位数を表す。 本研究科に4年以上在籍し、主指導教員の指導のもとに上記に定める共通科目と発展科目（講義・演習・実習 各1つ以上）の単位（合計30単位以上）を取得するとともに、学位論文を提出してその審査および最終試験に合格し、かつ、指定の研究倫理教育eラーニングを受講した者に博士（医学）の学位を授与する。ただし、3年以上在学し優れた研究業績をあげた場合には、在学期間が4年未満であっても学位を授与することがある。 また、本研究科の「臨床腫瘍学教育課程」においては、4年以上在学し、指導教員の指導の下に、上記に定める共通コア科目・がん専門医共通科目・臨床腫瘍医専門科目・選択科目の単位（合計30単位以上）を取得するとともに、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格し、かつ、指定の研究倫理教育eラーニングを受講した者に博士（医学）の学位を授与する。ただし、3年以上在学し優れた研究業績をあげた場合には、在学期間が4年未満であっても学位を授与することがある。									1学年の学期区分			2学期						
									1学期の授業期間			15週						
									1時限の授業の標準時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医学系研究科看護学専攻（博士後期課程））																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員(助手を除く)	
共通 大学院	教授法入門 専門分野の学識を教授するために	1前・2前			1		○								3	オムニバス オムニバス オムニバス・共同（一部） オムニバス オムニバス オムニバス 0 0
	小計（1科目）	—	—	0	1	0	—	—	—	0	0	0	0	0	3	
専門 科目	生活支援看護開発学特講	1前		2			○			7						
	地域看護システム開発学特講	1前		2			○			2	1				2	
	地域包括ケア演習	1後		2				○		1	2	2				
	小計（3科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	7	2	2	0	0	2	
関連 科目	地域医療学	1後			2		○			2					5	
	応用統計学	1後			2		○			1					1	
	研究方法特講	1後			2		○			5						
	小計（3科目）	—	—	0	6	0	—	—	—	5	0	0	0	0	6	
研 究 特 別	地域包括ケア開発学特別研究	1~3通		6				○		8	2	1			0	
	小計（1科目）	—	—	6	0	0	—	—	—	8	2	1	0	0	0	
合 計（8科目）		—	—	12	13	0	—	—	—	8	2	2	0	0	11	
学位又は称号		博士（看護学）			学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係）							
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等							
修了要件は博士後期課程に3年以上在学し、専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目から2単位以上、特別研究の必修6単位の合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文審査並びに最終試験に合格すること。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

授 業 科 目 の 概 要				
（アドバンストソーシャルマネジメント学環）				
科目 区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	プロジェクトマネジメント 特論		本科目は、プロジェクトマネジメントの基本概念と知識体系を理解し、自身の研究・実践プロジェクトに対して計画を具体的に設計するとともに、その妥当性を検証し、変革を生み出すプロジェクトを主体的に推進できる実践的視点を身につけることを目標とする。あらゆる業界において不可欠となっているプロジェクトマネジメントの基礎知識および考え方を、PMBOKを基盤として、プロジェクトの立ち上げから終結に至るまでの一連のマネジメントプロセス、原則、パフォーマンス領域、チーム形成やリーダーシップについて体系的に学修し、後半では、受講者自身の社会変革プロジェクトを題材に、プロジェクト憲章、ステークホルダー分析、スコープ定義、WBS、リスク分析、スケジュール計画、コミュニケーション設計等を作成し、理論を実践へと具体化する。	共同
専門科目	プロジェクト演習		（概要）学生が社会の現場をフィールドとして設定し、実際の社会課題を対象とした課題解決型プロジェクトに取り組む科目で、企画立案から実行、成果評価及び提言に至るまでの一連のプロセスを、国際標準のプロジェクトマネジメント手法に基づいて一貫して実施する。主指導教員・副指導教員及びコーディネーターによる複数体制の伴走支援のもと、実践の課程を構造化し、得られた成果や知見をプロジェクト論文として体系的にまとめる。従来の学術研究にとどまらず、社会実装やイノベーション創出の実証的な成果を重視した、実践的かつ分野横断的な教育プログラムを展開する。 （1 高橋 寛） 専門領域である計算機システム分野について、半導体集積回路およびそれらを構成要素とする情報システムの社会実装に関して研究するために、半導体集積回路および情報システムを活用して地域の課題を解決するための手法の研究課題や半導体関連産業、情報システム産業、AI関連産業の企業立地のための戦略策定に関する研究課題の指導を行う。 （2 神野 雅文） 社会に発生・存在している諸問題について電気電子工学・プラズマ科学・照明科学の知見を基に、その解析から解決法の確立までを課題とし研究指導を行う。 （3 森脇 亮） 水工学・水文学および地域レジリエンス工学の手法を用いて、気候変動下の水災害リスク評価と減災対策の社会実装に関する課題、具体的には流域治水や避難行動支援等の対策効果の定量評価を通じ、自治体・地域との協働による防災・減災プロジェクトを推進し、科学的知見を政策および地域実装へ結び付ける手法に関する課題の研究指導を行う。 （4 松村 暢彦） 人口減少が進む地方都市に対する地域デザインを取り上げ、公民学連携による活性化の課題の研究指導を行う。 （5 野村 信福） 二酸化炭素の転換技術を基盤とし、持続可能なエネルギー社会を目指した研究課題の研究指導を行う。 （6 林 実） 資源、環境、エネルギー等の地球規模の社会課題の解決に向けて、化学的な手法を用いた具体的な解決手法の提案と検証を課題とする研究指導を行う。 （7 板垣 吉晃） 電気化学的手法を活用し、技術的観点から機能性材料を基盤としたカーボンニュートラル課題に関する研究指導を行う。 （8 前原 常弘） 液中プラズマ、核融合に関する知見に基づいて、理工学を基礎とするプロジェクトに関する研究指導を行う。 （9 鍛冶澤 賢） 宇宙物理学、観測天文学で用いられる画像データ解析・統計解析の手法を社会的課題解決のために応用するテーマの研究指導を行う。	

			(10 高瀬 雅祥) 新規有機π電子系化合物の創製を通じて、π共役系化合物の合成、構造解析、反応性および物性の理解を深めるとともに、有機エレクトロニクス材料としての機能評価を実践的に遂行できる能力を養う研究指導を行う。 (11 畑 啓生) 生態学的手法を用いて、希少種の保全や外来種の管理についての研究指導を行う。 (12 藪谷 智規) 製紙・紙加工・バイオマス資源の利活用に関わる技術を基盤とし、紙産業関連の産官学が集積する地域フィールドを活かした現場実践型のイノベーション創出プロジェクトに対する研究指導を行う。 (13 山下 政克) データサイエンス（コホート研究）とライフサイエンス（免疫学・精密栄養学）、そしてマネジメント学を融合させた、課題解決型の社会実装プログラムに関して研究指導を行う。 (14 藤村 一美) 地域・在宅・医療施設をフィールドとし、認知症およびフレイル予防や在宅緩和ケア等の社会課題に対し、国際標準のプロジェクトマネジメントに基づく看護介入の企画・実装・評価を通じて、社会実装モデルの構築を目指すプロジェクト研究の指導を行う。 (15 川口 真紀子) フレイルやサルコペニア予防のための健康増進プログラム開発や保健指導プログラムの開発を研究課題とし、開発したプログラムによる介入の評価に用いる生理学的実験および生化学実験の指導を行う。 (16 荒木 卓哉) 生理生態学および形態学的手法を用いて、作物生産へ及ぼす生育環境のインパクトの評価および高位または高品質生産へ向けた栽培管理の構築に関する研究指導を行う。 (17 菅原 卓也) 食品成分の健康機能について取り上げ、食品が持つ保健機能成分を活用し、機能性食品として開発し、社会実装するための課題について研究指導を行う。	
--	--	--	--	--

国立大学法人 愛媛大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和9年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
愛媛大学				愛媛大学				
法学部		3年次		法学部		3年次		
人文社会学科	365	30	1,520	人文社会学科	365	30	1,520	
(昼間主コース)	275	10	1,120	(昼間主コース)	275	10	1,120	
(夜間主コース)	90	20	400	(夜間主コース)	90	20	400	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	160	-	640	学校教育教員養成課程	160	-	640	
社会共創学部				社会共創学部				
産業マネジメント学科	70	-	280	産業マネジメント学科	70	-	280	
産業イノベーション学科	25	-	100	産業イノベーション学科	25	-	100	
環境デザイン学科	35	-	140	環境デザイン学科	35	-	140	
地域資源マネジメント学科	50	-	200	地域資源マネジメント学科	50	-	200	
理学部				理学部				
理学科	225	-	900	理学科	225	-	900	
医学部		2年次		医学部		2年次		定員変更(Δ15)
医学科	110	5	610	医学科	95	5	595	医学部医学科の定員15人の増加については、令和8年度までの措置。
看護学科	60	10	260	看護学科	60	0	240	編入学定員変更(Δ10)
工学部		3年次		工学部		3年次		
工学科	530	10	2,140	工学科	530	10	2,140	
農学部		3年次		農学部		3年次		
食料生産学科	70	5	290	食料生産学科	70	5	290	
生命機能学科	45	2	184	生命機能学科	45	2	184	
生物環境学科	55	3	226	生物環境学科	55	3	226	
計	1,800	5 3年次 60	7,490	計	1,785	5 3年次 50	7,455	
愛媛大学大学院				愛媛大学大学院				
人文社会科学研究科				人文社会科学研究科				
法文学専攻(M)	12	-	24	法文学専攻(M)	12	-	24	
(うち、法文学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	(うち、法文学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	
産業システム創成専攻(M)	8	-	16	産業システム創成専攻(M)	8	-	16	
(うち、産業システム創成専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	(うち、産業システム創成専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	
<u>人文社会科学専攻(D)</u>				<u>人文社会科学専攻(D)</u>	5	-	15	研究科の専攻の設置(意見伺い)
教育学研究科				教育学研究科				
心理発達臨床専攻(M)	10	-	20	心理発達臨床専攻(M)	10	-	20	
教育実践高度化専攻(P)	40	-	80	教育実践高度化専攻(P)	40	-	80	
医学系研究科				医学系研究科				
医学専攻(D)	30	-	120	医学専攻(D)	30	-	120	
看護学専攻(M)	12	-	24	看護学専攻(M)	12	-	24	
(うち、看護学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※1	(うち、看護学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※1	
看護学専攻(D)	2	-	6	看護学専攻(D)	2	-	6	
理工学研究科				理工学研究科				
理工学専攻(M)	270	-	540	理工学専攻(M)	275	-	550	定員変更(5)
(うち、理工学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※2	(うち、理工学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※2	
理工学専攻(D)	23	-	69	理工学専攻(D)	23	-	69	
(うち、理工学専攻からアドバンストソーシャルマネジメント学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)				(うち、理工学専攻からアドバンストソーシャルマネジメント学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(5)	-	(15) ※3	
農学研究科				農学研究科				
食料生産学専攻(M)	26	-	52	食料生産学専攻(M)	26	-	52	
(うち、食料生産学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※1	(うち、食料生産学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※1	
(うち、食料生産学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	(うち、食料生産学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	
生命機能学専攻(M)	23	-	46	生命機能学専攻(M)	23	-	46	
生物環境学専攻(M)	23	-	46	生物環境学専攻(M)	23	-	46	
(うち、生物環境学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※1	(うち、生物環境学専攻から医農融合公衆衛生学環の内数とする入学定員及び収容定員数)	(2)	-	(4) ※1	
(うち、生物環境学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	(うち、生物環境学専攻から地域レジリエンス学環の内数とする入学定員数及び収容定員数)	(1)	-	(2) ※2	
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物資源生産学専攻(D)	9	-	27	生物資源生産学専攻(D)	9	-	27	
生物資源利用学専攻(D)	4	-	12	生物資源利用学専攻(D)	4	-	12	
生物環境保全学専攻(D)	4	-	12	生物環境保全学専攻(D)	4	-	12	
医農融合公衆衛生学環(M)	(5)	-	(10) ※1	医農融合公衆衛生学環(M)	(5)	-	(10) ※1	
地域レジリエンス学環(M)	(6)	-	(12) ※2	地域レジリエンス学環(M)	(6)	-	(12) ※2	
計	496	-	1,094	計	506	-	1,119	
※1 医農融合公衆衛生学環(M)の入学定員及び収容定員は、医学系研究科看護学専攻(M)、医学研究科食料生産学専攻(M)、農学研究科食料生産学専攻(M)及び農学研究科生物環境学専攻(M)の内数とする。				※1 医農融合公衆衛生学環(M)の入学定員及び収容定員は、医学系研究科看護学専攻(M)、医学研究科食料生産学専攻(M)及び農学研究科生物環境学専攻(M)の内数とする。				
※2 地域レジリエンス学環(M)の入学定員及び収容定員は、人文社会科学研究科法文学専攻(M)、人文社会科学研究科産業システム創成専攻(M)、理工学研究科理工学専攻(M)、農学研究科食料生産学専攻(M)及び農学研究科生物環境学専攻(M)の内数とする。				※2 地域レジリエンス学環(M)の入学定員及び収容定員は、人文社会科学研究科法文学専攻(M)、人文社会科学研究科産業システム創成専攻(M)、理工学研究科理工学専攻(M)、農学研究科食料生産学専攻(M)及び農学研究科生物環境学専攻(M)の内数とする。				
※3 アドバンストソーシャルマネジメント学環(D)の入学定員及び収容定員は、理工学研究科理工学専攻(D)の内数とする。				※3 アドバンストソーシャルマネジメント学環(D)の入学定員及び収容定員は、理工学研究科理工学専攻(D)の内数とする。				